

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

|       |              |
|-------|--------------|
| 制作団体名 | 有限会社 古典空間    |
| 公演団体名 | 一般社団法人 義太夫協会 |

| 内容  |
|---|
| ① 義太夫節「浄瑠璃(語り)」の解説<br>→義太夫節ならではの「語り」の特徴や、人物の演じ分け、情景描写など、実演を交えて説明            |
| ② 義太夫節「三味線」の解説<br>→三味線という楽器の構造、義太夫節における三味線の役割など、演奏を交えて説明                    |
| ③ 「義太夫節の“笑い”」をやってみようー基礎編<br>→数種類の「笑い」の表現をレクチャーし、実際にやってみる                    |
| ④ 「義太夫節の“笑い”」をやってみようー応用編<br>→子どもたちに身近なシーンを設定し、「笑い」の表現を取り入れた台詞を付けて、実際に語ってもらう |
| ⑤ 本番に向けてのお稽古<br>→本番で披露する演目の一場面の「浄瑠璃」をお稽古                                    |
| ⑥ 本番に向けての床本作成<br>→本番時に使用する床本(台本)を作成   |

| タイムスケジュール (標準)             |
|----------------------------|
| 12:00 会場入り<br>～会場下見、準備、打合せ |
| 13:30 ワークショップ開始(前半)        |
| 14:30 休憩                   |
| 14:40 ワークショップ開始(後半)        |
| 15:40 終了<br>～撤収、本公演打合せ     |
| 16:30 退出                   |

| 派遣者数 |
|------|
| 6名   |

**学校における事前指導**

当方にて義太夫節に関する簡単な説明資料(A4・1枚)を作成、各学校へお送りし、先生方より児童・生徒の皆さまに向けて説明を行なっていただく。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

|       |              |
|-------|--------------|
| 制作団体名 | 有限会社 古典空間    |
| 公演団体名 | 一般社団法人 義太夫協会 |

| 演目   |
|--|
| ① 義太夫節を聴いてみよう！<br>『増補大江山（ぞうほおおえやま）』「戻り橋の段（もどりばしのだん）」より             |
| ② 義太夫節って何だろう？～その1（太夫が語る「浄瑠璃」って？/三味線について）                           |
| ③ 太夫節って何だろう？～その2<br>（「校歌」を聴かせて！校歌斉唱⇒「校歌」が義太夫節に変身!?)                |
| ④ 全員体験コーナー 義太夫節の「大笑い」！みんなで舞台の幕を開けよう「口上」！                           |
| ⑤ ワークショップ体験発表コーナー<br>『菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）』 「車曳の段（くるまびきのだん）」より |
| ⑥ 義太夫節を楽しもう！<br>『菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）』 「車曳の段（くるまびきのだん）」        |

| 派遣者数            |
|-----------------|
| 14名(出演者6、スタッフ8) |

| タイムスケジュール（標準）   |        |
|---|--------|
| 9:30～11:40 搬入・仕込み   | (130分) |
| 11:40～12:00 ワークショップ(参加する児童・生徒)のリハーサル<br>(※11:00～教室でのおさらい) | (20分)  |
| 12:00～12:30 出演者リハーサル                                      | (30分)  |
| 12:30～13:20 昼休み・開演準備                                      | (50分)  |
| 13:20～14:40 本番  | (80分)  |
| 14:40～15:30 終演～撤去・退出                                      | (50分)  |

| 実施校への協力依頼人員 |
|-------------|
| 特になし        |

## 演目解説

- ① **義太夫節『増補大江山（そうほおおえやま）』『戻り橋の段（もどりはしのだん）』より**  
舞台は京都・一条の戻り橋。渡辺綱（わたなべのつな）という武将が橋にさしかかると、そこには美しい女。「行き先の五条まで送ろう」と一緒に歩き始めると、何と川に映ったのは恐ろしい鬼の姿でした。正体を暴かれた鬼は、綱と激しい戦いを繰り広げます。
- ② **義太夫節って何だろう？～その1（太夫が語る「浄瑠璃」って？／三味線について）**  
日本の伝統芸能を代表する文楽や歌舞伎に不可欠の音楽である浄瑠璃・義太夫節。その「浄瑠璃（語り）」と「三味線」をわかり易く楽しく解説。太夫の着けている肩衣（かたぎぬ）や見台（けんたい）などについて、また三味線のルーツや形、素材について！君も今日から“義太夫博士！”
- ③ **義太夫節って何だろう？～その2（皆さんの「校歌」を聴かせて！⇒「校歌」が義太夫節に変身！）**  
訪問校の校歌を全校児童・生徒に歌っていただきます。そして、何とその校歌の歌詞を独特の節（メロディ）に乗せて、義太夫節に変身させてしまうコーナーです。「これが私たちの校歌っ！？」斬新な一曲をお届けします。
- ④ **全員体験コーナー ～義太夫節の「大笑い」！ みんなで舞台の幕を開けよう「口上」！**  
義太夫節の一大特徴である「大笑い」、さらに「口上」を体験。児童・生徒全員で大きな声を出すコーナー。どんな会場でも最高潮の盛り上がりが見られます。そして稽古したばかりの「口上」で、出演者と演目を紹介し最後の演目の幕を開けてもらいます。
- ⑤ **ワークショップ体験発表コーナー**  
代表の児童・生徒に義太夫節の“ユニフォーム”肩衣を着けて舞台上に上がっていただき、三味線に合わせて、ワークショップから稽古してきた『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」（抜粋）の成果を発表。自分で作った「床本（ゆかほん）」を見ながらの披露となります。
- ⑥ **義太夫節を楽しもう！『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」**  
人形浄瑠璃・文楽や歌舞伎でもたびたび上演される名作。練習を積んで発表してもらった箇所や体験した「大笑い」も出てくるおなじみの「車曳の段」。三つ子の兄弟の争い、悪者・藤原時平の威厳！語り・三味線とも迫力が真骨頂である義太夫節の魅力を存分に楽しめる作品です。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップでは、選抜された児童・生徒に義太夫節『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」の一部を稽古していただき、舞台で使用する「床本」の作成に取り組んでいただきます。また本番では、本舞台さながらの肩衣を着けた姿で出演者と共演してもらいます。さらに本番では、会場の全児童・生徒に「大笑い」と「口上」を指導し、作法に則った「口上」で幕を開けてもらうなど、出演者と会場の児童・生徒とが常に一体となって80分間を過ごせる演出を工夫します。

## 児童生徒とのふれあい

- ・上記、演目中の④全員体験コーナーにて、出演者が客席の中に入り、児童・生徒と身近な距離、子どもたちの視線で指導を行う
- ・質問コーナーを設けるなど、直接のコミュニケーションを取る工夫を随所につくる